

カ（ちから）だめしプリント（ぷりんと） パート（ぱあと） 4

小学校（しょうがっこう） 6年（ねん）算数（さんすう） 3【11】（1）

みなさん、こんにちは、この問題（もんだい）は、一輪車（いちりんしゃ）の問題（もんだい）です。

みなさんは、一輪車（いちりんしゃ）に乗（の）ったことはありますか。

はじめは、難（むずか）しいけど、乗（の）れるようになったら、いろんな技（わざ）ができて楽（たの）

しいですね。

それでは、問題（もんだい）の方（ほう）に入（はい）っていきたいと思（おも）います。

この問題（もんだい）の主人公（しゅじんこう）のあやかさん。

あやかさんは、一輪車（いちりんしゃ）のサドル（さどる）の高（たか）さを合（あ）わせています。

一輪車（いちりんしゃ）の高（たか）さは、地面（じめん）からおへその高（たか）さぐらいがちょうど

と言（い）われています。

あやかさんがサドル（さどる）の高（たか）さを調整（ちょうせい）するとこの絵（え）のようになった

ということです。

問題（もんだい）は、地面（じめん）からあやかさんのおへそまでの高（たか）さが何（なん）cm（セ

んちめーとる）かということです。

ここで、この絵に示されている情報を整理してみましよう。

まず、地面（じめん）からおへそまでの高（たか）さ、

次（つぎ）に、サドル（さどる）からタイヤ（たいや）までの高（たか）さの②（あ）の部分（ぶぶん）、

次（つぎ）に、タイヤ（たいや）の半径（はんけい）25 cm（せんちめーとる）、

見（み）てみると分（わ）かるように、今（いま）、それぞれの情報（じょうほう）は、ばらばらになっ
ていますので、

ー（いっ）か所（しょ）にまとめてみると、分（わ）かりやすいでしょう。

まず、円（あ）の長（なが）さを移動（いどう）します。

後（あと）は、この残（のこ）りがわかれば答（こた）えがでてきそうですね。

どうすれば残（のこ）りの部分（ぶぶん）の長（なが）さがわかるかな？

では、この残（のこ）りの高（たか）さ、これは何（なん）でしょうか。

横（よこ）に動（うご）かしていくと、そうです。タイヤ（たいや）の高（たか）さということがわかり
ますね。

では、タイヤ（たいや）の高（たか）さはどのように求（もと）めたいのでしょうか。

タイヤ（たいや）の高（たか）さですが、ここにもヒント（ひんと）がかかれています。

それは、タイヤ（たいや）の半径（はんけい）が25 cm（せんちめーとる）だということです。

この円（えん）の中心（ちゅうしん）を通（とお）り、円周（えんしゅう）から円周（えんしゅう）まで
を通（とお）る線（せん）、これを、直径（ちよっけい）と言（い）いましたね。

直径（ちよっけい）は、半径（はんけい）の2倍（ばい）の長（なが）さ、

直径（ちよっけい）の長（なが）さは、半径（はんけい）の2倍（ばい）なので、 $25 \times 2 = 50$

このタイヤ（たいや）の直径（ちよっけい）は、50 cm（せんちめーとる）となります。

この円（えん）の直径（ちよっけい）を移動（いどう）させてみましょう。

これで、地面（じめん）からの高（たか）さを求（もと）めるための長（なが）さがわかりましたね。

㊦（あ）の長（なが）さが20 cm（せんちめーとる）、タイヤ（たいや）の直径（ちよっけい）が50 cm（せんちめーとる）、合（あ）わせて、地面（じめん）からおへそまでの高（たか）さは、70 cm（せんちめーとる）となります。

このように、問題（もんだい）の中（なか）にあるヒント（ひんと）を使（つか）うといろいろなことが分（わ）かってくるのも算数（さんず）の楽（たの）しいところですね。